

令和5年度 玉川少年野球親睦会『3年生以下の大会』実施について

【目的】

3年生以下の学童の育成

勝ち負けはありますが、それを越えて、来年度に向けた試合の所作やルール等を、本大会を通じて学び、野球の楽しさを体験する事を目的とします。

【大会成立条件】

参加が8チーム以上とします。

【参加条件】

3年生以下の選手とします。

3年生以下の選手が満たないチーム同士で、合同チームの参加を可とします。

【試合方式】

トーナメント戦

試合は親睦リーグ戦に準じ、対戦相手同士で、日時、グラウンド、審判を決定し実施して下さい。決勝戦が親睦リーグ閉会式までに実施できるように、チーム間での調整と協力をお願いします。決勝戦の審判につきましては、審判部会に協力をお願いします。

【ルール】

世田谷区軟式野球連盟規約 『3年生以下の大会』の特別規則（2019年8月）に準じます。

尚、下記の条件について、試合当日、監督間で話し合って、了解を得て試合に臨んで下さい。

- ・得点は5得点で攻守交代など、上記、特別規約の参照をお願いします。
- ・打順に付きましては、1～9名以上でも可とします。但し、守備は9名とします。
- ・参加3年生が9名の場合、体調不良などを考慮し、4年生の帯同を可とします。
- ・参加3年生が8名であっても可とします。
- ・4年生を参加させる場合は、守備は外野のみ、打順は7番～9番とします。

【表彰】

優勝、準優勝、各チーム優秀選手1名

【参加費用】

参加チームは参加費2,000円を負担し、この費用はメダル代に充てます。

ただし、メダルは優勝チーム、準優勝チームの各9個分と、残りチームの優秀選手賞各1個とし、優勝、準優勝メダル9個を超えて希望する場合、超えた個数のメダル代はチームの負担とします。

【大会運用について】

試合日時・場所の予定が決まり次第（または変更があり次第）、リーグLINEで報告して下さい。

試合結果は、勝利チームがリーグLINEで報告して下さい。

親睦リーグHPのトーナメント表（試合予定・結果）の更新は、幹事チームが行います。

【次回幹事チーム】

今大会の優勝チームが次回の幹事チームとします。

以上

大会規定、試合規則は基本的に「低学年の大会」に準ずる。

以下、本大会の特別規則（後段に2019年度採用の規則を記載しています）

- ・イニング数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングに入らない。
- ・投手板と本塁間の距離は14m、塁間距離は21mとする。
- ・攻守交代の特別規則を設ける。すなわち、3アウトにならなくとも攻撃側が1イニングに5点目を記録した時点で攻守交代する。
- ・得点差によるコールドゲームは適用しない。
- ・6点以上の点差をつけてリードしている先攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過して、その表の攻撃が終了した場合、試合の勝敗は決しているが、その裏の後攻チームの攻撃も行う。（なるべく多くの選手を打席に立たせようという考え）

(例)

	1回	2回	3回	4回	
Aチーム	3	2	0	1	← ここで規定時間経過
Bチーム	0	0	0		← 攻撃を行う

- (注1) 後攻チームがリードしていて先攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過して、先攻チームが同点または逆転することなく攻撃を終了した場合、試合は終了する。
- (注2) 後攻チームがリードしていて後攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過した場合、審判員はその時点でその旨を両チームに伝え、その時点の打者が打撃を完了したら試合を終了する。
- (注3) 後攻チームがリードされている、または同点で後攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過して、後攻チームが逆転または勝ち越した場合、その時点で試合は終了する。（いわゆるサヨナラ勝ち）
- ・主将の背番号は10番以外でも可とする。
 - ・選手はユニフォームを着用すること。3年生以下ということでユニフォームが揃っていないチームもあるので、不揃いでも認める。但し、ジャージやトレーナー等は不可。
 - ・基本ルールの修得という考えから、危険行為やルール上の違反行為があった場合は、審判員が試合を止めて、選手やベンチに指導する場合がある。

※ここより2019年度採用の新規則

1. 投手の障害予防のための投球数制限

- ①1日50球以内とする。
- ②試合中の投手は、他の守備に付いたら再び投手に戻れない。
- ③ある打者の打撃中に50球に達した場合は、その打者の打撃が終了した時に投手交代となる。

2. 投手が打者に思いっきり投げるために（走者を気にせずに）

- ①走者の盗塁を認めない。
- ②投球が投手の手を離れるまで、走者は離塁できない。
（走者がこれに違反した場合、審判員は都度注意する）
- ③捕手が投球を後逸した場合でも、走者は進塁できない。
但し、投球がボールデッドゾーンを越えた場合は、各走者は次塁に進塁できる。
- ④振り逃げは無しとする。捕手が第3ストライク目の投球を確捕できなくても、第3ストライクがコールされた時点で、打者は三振アウトとなる。

3. 打者が思いっきり打つために

- ①バントを禁止する。もし、打者がバントした場合は、ノーカウントとする。